

2024年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年7月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ビックカメラ

コード番号 3048 URL <https://www.biccamera.co.jp/ir/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秋保 徹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 安部 徹 TEL 03-3987-8785

四半期報告書提出予定日 2024年7月12日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期第3四半期の連結業績(2023年9月1日~2024年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第3四半期	687,678	12.3	19,194	76.1	20,719	67.1	10,554	128.6
2023年8月期第3四半期	612,485	2.7	10,902	△28.6	12,397	△27.5	4,617	△43.4

(注) 包括利益 2024年8月期第3四半期 15,655百万円 (72.3%) 2023年8月期第3四半期 9,084百万円 (△19.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第3四半期	61.66	61.61
2023年8月期第3四半期	26.97	26.94

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第3四半期	501,126	187,819	29.4
2023年8月期	449,840	176,383	30.5

(参考) 自己資本 2024年8月期第3四半期 147,519百万円 2023年8月期 137,173百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	ー	5.00	ー	10.00	15.00
2024年8月期	ー	9.00	ー		
2024年8月期(予想)				15.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(2024年7月12日)公表いたしました「通期連結業績予想の修正及び期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2024年8月期の連結業績予想(2023年9月1日~2024年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	916,000	12.3	22,500	58.3	24,600	48.5	10,000	240.5	58.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年8月期3Q	188,146,304 株	2023年8月期	188,146,304 株
② 期末自己株式数	2024年8月期3Q	16,963,708 株	2023年8月期	16,974,305 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年8月期3Q	171,181,293 株	2023年8月期3Q	171,167,706 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	9
3. 補足情報	11
生産、受注及び販売の実績	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年9月1日から2024年5月31日まで)におけるわが国経済は、このところ足踏みもみられるものの、緩やかに回復しております。企業収益は、総じてみれば改善し、雇用情勢は改善の動きがみられる一方で、個人消費は持ち直しに足踏みがみられます。

当家電小売業界における売上は、スマートフォン等が好調に推移いたしました。パソコン、ゲーム、テレビ、洗濯機等が低調であったため、総じて低調に推移いたしました。

こうした状況下にあって、「専門性と先進性で、より豊かな生活を提案する、進化し続けるこだわりの専門店の集合体」と定めた企業理念のもと、経営戦略として「ビックカメラらしい強い店舗を取り戻す」を掲げ、その実現に向け、「人を成長の原動力とする」を筆頭に、「強い店舗の再構築」、「収益構造の抜本的見直し」及び「中長期の成長戦略」を4大施策として取り組んでおります。

新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んでいた免税売上は、海外向け当社公式SNSでの発信や、現地インフルエンサーとの連携強化、航空会社とのクーポン配布施策拡大などの取り組み効果もあり、多様な国々からの集客が進んだ結果、足元ではコロナ前を超える水準まで回復しております。

店舗展開におきましては、グループ会社の株式会社コジマが、2023年11月23日の「コジマ×ビックカメラ 新さっぽろデュオ店」(北海道札幌市)を開店、当社と日本空港ビルデング株式会社との合弁会社のAir BIC株式会社が、臨時休業していた「Air BicCamera 那覇空港店」(沖縄県那覇市)を、2024年4月1日より営業再開しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,876億78百万円(前年同期比12.3%増)、営業利益は191億94百万円(前年同期比76.1%増)、経常利益は207億19百万円(前年同期比67.1%増)、税金等調整前四半期純利益は194億54百万円(前年同期比93.9%増)となりました。法人税等合計が68億24百万円、非支配株主に帰属する四半期純利益が20億74百万円となったため、親会社株主に帰属する四半期純利益は105億54百万円(前年同期比128.6%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(物品販売事業)

売上高は6,780億83百万円(前年同期比12.5%増)、経常利益は190億43百万円(前年同期比79.0%増)となりました。

(BSデジタル放送事業)

売上高は84億81百万円(前年同期比1.6%減)、経常利益は15億68百万円(前年同期比5.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ512億85百万円増加(前連結会計年度末比11.4%増)し、5,011億26百万円となりました。主な要因は、売掛金の増加63億4百万円、商品及び製品の増加186億円、のれんの増加46億9百万円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ398億50百万円増加(前連結会計年度末比14.6%増)し、3,133億7百万円となりました。主な要因は、1年内返済予定の長期借入金の減少7億24百万円があったものの、買掛金の増加168億84百万円、短期借入金の増加58億60百万円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ114億35百万円増加(前連結会計年度末比6.5%増)し、1,878億19百万円となりました。主な要因は、剰余金の配当(純資産の減少)32億52百万円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益(純資産の増加)105億54百万円、その他有価証券評価差額金の増加(純資産の増加)31億29百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月期の通期の連結業績予想につきましては、2024年4月12日公表した数値を修正しております。詳細につきましては、2024年7月12日公表の「通期連結業績予想の修正及び期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	75,135	79,100
売掛金	44,540	50,844
商品及び製品	105,260	123,860
原材料及び貯蔵品	575	674
番組勘定	269	271
その他	21,662	30,662
貸倒引当金	△198	△182
流動資産合計	247,245	285,232
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	25,547	26,076
土地	47,747	47,738
その他（純額）	9,809	8,955
有形固定資産合計	83,104	82,770
無形固定資産		
のれん	5,303	9,912
その他	26,687	30,529
無形固定資産合計	31,990	40,442
投資その他の資産		
差入保証金	40,641	39,975
その他	47,599	53,443
貸倒引当金	△740	△738
投資その他の資産合計	87,500	92,680
固定資産合計	202,595	215,893
資産合計	449,840	501,126

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	39,919	56,803
短期借入金	78,000	83,860
1年内償還予定の社債	200	200
1年内返済予定の長期借入金	20,304	19,579
未払法人税等	2,817	4,719
契約負債	31,112	32,495
賞与引当金	4,358	7,890
店舗閉鎖損失引当金	135	192
資産除去債務	433	544
その他	27,581	35,409
流動負債合計	204,862	241,696
固定負債		
社債	200	—
長期借入金	24,022	25,701
契約負債	8,781	8,809
商品保証引当金	178	150
店舗閉鎖損失引当金	387	133
関係会社事業損失引当金	47	—
退職給付に係る負債	19,347	20,700
資産除去債務	10,387	10,811
その他	5,241	5,303
固定負債合計	68,593	71,611
負債合計	273,456	313,307
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,929	25,929
資本剰余金	27,081	27,054
利益剰余金	99,438	106,742
自己株式	△21,684	△21,670
株主資本合計	130,764	138,055
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,517	8,646
退職給付に係る調整累計額	892	816
その他の包括利益累計額合計	6,409	9,463
新株予約権	211	163
非支配株主持分	38,998	40,136
純資産合計	176,383	187,819
負債純資産合計	449,840	501,126

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)
売上高	612,485	687,678
売上原価	450,633	507,735
売上総利益	161,852	179,942
販売費及び一般管理費	150,949	160,748
営業利益	10,902	19,194
営業外収益		
受取利息	25	44
受取配当金	98	107
持分法による投資利益	—	85
受取手数料	1,198	1,245
その他	549	575
営業外収益合計	1,870	2,058
営業外費用		
支払利息	175	241
持分法による投資損失	95	—
支払手数料	34	202
その他	69	89
営業外費用合計	375	534
経常利益	12,397	20,719
特別利益		
固定資産売却益	25	89
関係会社事業損失引当金戻入額	—	47
受取保険金	64	—
その他	—	16
特別利益合計	89	154
特別損失		
固定資産売却損	—	2
固定資産除却損	94	97
投資有価証券売却損	7	0
投資有価証券評価損	1,889	—
減損損失	—	669
事業撤退損	—	647
その他	463	1
特別損失合計	2,455	1,419
税金等調整前四半期純利益	10,032	19,454
法人税、住民税及び事業税	3,804	6,101
法人税等調整額	31	723
法人税等合計	3,835	6,824
四半期純利益	6,196	12,629
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,579	2,074
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,617	10,554

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)
四半期純利益	6,196	12,629
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,860	3,129
退職給付に係る調整額	27	△103
その他の包括利益合計	2,887	3,026
四半期包括利益	9,084	15,655
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,543	13,609
非支配株主に係る四半期包括利益	1,540	2,046

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、当社の連結子会社であった株式会社ソーモバイルは、株式会社ラネット（連結子会社）を存続会社とする吸収合併（合併期日：2023年9月1日）により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自2022年9月1日至2023年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	連結財務諸表 計上額 (注2)
	物品販売 事業	B S デジタル 放送事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	602,709	8,548	611,258	1,227	612,485	—	612,485
セグメント間の内部 売上高又は振替高	53	69	122	0	123	△123	—
計	602,763	8,617	611,381	1,228	612,609	△123	612,485
セグメント利益	10,640	1,663	12,304	93	12,397	—	12,397

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ケーブルテレビ事業を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

前第3四半期連結会計期間における重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 2023年9月1日 至 2024年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	連結財務諸表 計上額 (注2)
	物品販売 事業	B S デジタル 放送事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	678,041	8,439	686,481	1,197	687,678	—	687,678
セグメント間の内部 売上高又は振替高	42	41	84	0	84	△84	—
計	678,083	8,481	686,565	1,198	687,763	△84	687,678
セグメント利益	19,043	1,568	20,612	107	20,719	—	20,719

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ケーブルテレビ事業を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「物品販売事業」セグメントにおいて、店舗設備等に係る固定資産につき減損損失を計上しております。なお、当第3四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は669百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「物品販売事業」セグメントにおいて、2023年10月1日に行われた株式会社TDモバイルとの企業結合について、第1四半期連結会計期間及び第2四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、当第3四半期連結会計期間に確定し、のれんが暫定的に算定された9,211百万円から5,371百万円に変動しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(会社分割による事業分離)

当社子会社による吸収分割による事業分離

当社の連結子会社である株式会社ビックライフソリューションは、同社が営むウォーターサーバー事業を吸収分割の方法により、プレミアムウォーター富士株式会社に承継させる吸収分割契約を、2024年4月30日付で締結し、2024年6月28日付で本吸収分割を実行いたしました。

(1) 事業分離の概要

① 分離先企業の名称

プレミアムウォーター富士株式会社

② 分離した事業の内容

株式会社ビックライフソリューションが営むウォーターサーバー事業

③ 事業分離を行った主な理由

不採算事業を分離するため。

④ 事業分離日

2024年6月28日

⑤ 法的形式を含むその他取引の概要に関する事項

株式会社ビックライフソリューションを吸収分割会社とし、プレミアムウォーター富士株式会社を吸収分割承継会社とする会社分割であります。

(2) 実施した会計処理の概要

「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 2013年9月13日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）に基づき、会計処理を行う予定です。

なお、2024年8月期第4四半期連結会計期間において、本事業分離に関連する収益約4億円程度を事業譲渡益として、特別利益に計上する見込みです。

(3) 分離した事業が含まれていた報告セグメントの名称

物品販売事業

3. 補足情報

生産、受注及び販売の実績

セグメント別売上高

セグメントの名称及び品目		当第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)		
		売上高 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比増減率 (%)
音響映像商品	カメラ	23,741	3.5	22.7
	テレビ	26,328	3.8	△9.2
	レコーダー・ビデオカメラ	7,554	1.1	1.9
	オーディオ	7,609	1.1	△7.1
	その他	23,479	3.4	7.2
	小計	88,713	12.9	3.3
家庭電化商品	冷蔵庫	27,254	3.9	△1.5
	洗濯機	30,373	4.4	△4.6
	調理家電	25,211	3.7	3.3
	季節家電	32,893	4.8	△6.3
	理美容家電	35,529	5.2	9.5
	その他	32,757	4.8	△3.5
	小計	184,019	26.8	△0.7
情報通信機器 商品	パソコン本体	44,167	6.4	△9.7
	パソコン周辺機器	20,434	3.0	△6.4
	携帯電話	147,668	21.5	54.0
	その他	40,877	5.9	15.6
	小計	253,147	36.8	25.3
その他の商品	ゲーム	32,194	4.7	△14.0
	時計	10,708	1.5	22.3
	中古パソコン等	23,563	3.4	11.2
	スポーツ用品	8,029	1.2	1.5
	玩具	12,724	1.8	17.0
	メガネ・コンタクト	3,697	0.5	7.3
	酒類・飲食物	5,910	0.9	25.6
	医薬品・日用雑貨	10,886	1.6	27.5
	その他	44,445	6.5	67.3
	小計	152,160	22.1	17.6
物品販売事業		678,041	98.6	12.5
BSデジタル放送事業		8,439	1.2	△1.3
その他の事業		1,197	0.2	△2.4
合計		687,678	100.0	12.3